

2020年3月2日

## アメリカ教育学会

会報第46号(2019 No.046)

発行/アメリカ教育学会事務局

E-mail : jaaes.since.1989@gmail.com

[contents: 2019年度理事会・総会報告、第31回大会報告、事務局より]

### — 代表理事挨拶 —

八尾坂 修

アメリカ教育学会会員の皆様におかれましては、日頃学会の研究活動に御協力いただきまして、誠にありがとうございます。お陰様で、2019年度をもちましてアメリカ教育学会は31年目を迎えました。

さて、2019年度の学会活動としましては、2019年10月12日(土)に第31回大会(片山紀子大会準備委員長)を京都教育大学で開催することになっておりましたが、あいにく台風19号の影響により大会を中止せざるを得ませんでした。片山大会準備委員長は、大会プログラム作成とともに、大会開催に向けて周到に準備をしていただきまして、誠にありがとうございました。なお、『アメリカ教育研究』第31号には、シンポジウムの登壇を予定していた方々の発表内容が、特集として掲載されることになっております。御了承ください。

また、一昨年度からは学会紀要が、東信堂から市販として刊行される運びとなり、さらなる学会の発展となりました。『アメリカ教育研究』第30号は、2020年2月に刊行されます。「全国学会誌」として位置づいており、会員の皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

学会運営活動としましては、全理事・事務局協働体制のもと、紀要編集委員会、学会賞担当理事、教育セミナー担当理事を位置づけております。また、事務局からは精力的に研究活動の有益な情報発信を行っております。2020年2月15日(土)には上智大学を会場に、第4回教育セミナー(黒田友紀会員発表)を実施いたしました。また、台風で延期となった学会総会も同日に実施いたしました。

会員の皆様に執筆をお願いいたしました『現代アメリカ教育ハンドブック』（改訂版）は最新の教育動向を新たに取り入れつつ、東信堂が鋭意進めてくださっており、2020年の第32回大会前には、学会30周年記念として刊行いたします。何かと校正、問い合わせなどで御負担をおかけいたしますが、どうぞ御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

わが国において外国の教育に関わる単一の日本学術会議協力学術研究団体として、会員の皆様とともに発展したいと考えます。さらに若手研究者の学会加入と大会発表の充実を図りたいと思いますので、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

今後とも、学会活動・運営についてご意見・ご要望等ございましたら事務局までご連絡いただけたら幸いです。

## － 2019年度 理事会・総会報告 －

2019年度の理事会・総会は、2019年10月12日（土）に予定されていたが、台風の影響で延期となり、2019年11月23日（土）に理事会、そして、2020年2月15日（土）に総会が開催され、下記の議題が報告および審議された。

### （1）会務報告について

- ① 現況報告：会員総数 174 名（2020年2月1日現在）
- ② 2018年度事業報告
  - （ア）紀要第29号発行（2019年3月20日、東信堂）
  - （イ）第30回大会報告（於・東洋学園大学）（2018年10月20日）
  - （ウ）会報第45号（2019年1月30日）
  - （エ）アメリカ教育学会教育セミナー及び臨時理事会開催（於・上智大学）  
（2019年2月17日）
- ③ 2018年度会計報告：事務局より2018年度会計決算報告書（本紙7頁）に基づく報告が行われた（会費納入率は約85%）。

### （2）審議事項について

- ① 2019年度予算について：事務局より予算案（本紙7頁）の報告がなされ承認された。2
- ② 2019年度学会員名簿と今後の名簿作成手続について：事務局より、2022年度の学会員名簿作成においては、内容の正確さを期するため、事前に学会員一人一人に対して、会員情報を郵送で通知をし、開示情報の確認の手続を行うことで了承された。
- ③ 会報の送付方法の変更について：事務局より会報については、経費削減のためにペーパーレス化を図り、今後は学会 ML にて配信し、メールアドレス未登録者と希望者に限

り紙媒体で別途郵送する旨、了承された。

- ④ 『現代アメリカ教育ハンドブック [改訂版]』について：八尾坂代表理事より、東信堂が刊行に向けて、現在、調整を続けており、2020年度の第32回大会前までに刊行が予定されている旨の報告がなされた。

(3) 紀要第30号の報告

浅沼紀要編集委員長より、『アメリカ教育研究』第30号について、2020年2月10日に東信堂より刊行され、会員各位に発送された旨の報告がなされた。

(4) 2019年度アメリカ教育学会賞について

宮古紀宏会員が選定され、2019年度アメリカ教育学会賞を受賞された。

(5) 第32回大会の開催校・時期について

- ・次期大会開催は、以下で調整中である。

大会準備委員長：黒田 友紀（日本大学）

開催校：日本大学工学部駿河台校舎

住 所：〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

開催日：2020年10月上旬を予定

## － 第 31 回大会報告（台風により中止）－

本年度の大会は、2019 年 10 月 12 日（土）に京都教育大学にて、下記の通り開催を予定しておりましたが、台風の影響により中止となりました。なお、自由研究発表を予定されていた会員の方につきましては、すでに発表要旨を提出され、発表要旨集録も印刷済であることに鑑み、当学会としては、研究発表されたものとして、取り扱うことといたします。

### ◇大会日程

2019 年 10 月 11 日（金）

- 15:00～17:00 理事会（教育創世リージョナルセンター機構棟 2 階未来教室対応教室）
- 17:00～18:30 若手研究ワークショップ・交流会（教育創世リージョナルセンター機構棟 2 階セミナールーム A・B）

2019 年 10 月 12 日（土）

- 9:30～10:15 受付（午前：1 号館 A 棟 A1 教室前）
- 10:15-12:15 自由研究発表（1 号館 A 棟 A1 教室、A2 教室、A3 教室）
- 12:15-13:00 昼食
- 13:00-13:45 総会（1 号館 C 棟 大講義室 I 前）
- 14:00-16:15 公開シンポジウム（1 号館 C 棟 大講義室 I）
- 17:00-19:00 情報交換会

### ◇自由研究発表・部会報告

#### 自由研究発表 I

司会：八尾坂修（開智国際大学・九州大学名誉教授）、末藤美津子（東洋学園大学）

自由研究発表の第 I 部会は、以下を予定していた。

- （1）矢野裕俊会員（武庫川女子大学）「ESSA 制定と施行のインパクト」
- （2）成松美枝会員（聖隷クリストファー大学）「アメリカの教員養成・採用・研修の一体的改革について」
- （3）藤本駿会員（くらしき作陽大学）「全米教職専門職基準委員会（NBPTS）スタンダードを活用した教員育成支援策の意義と課題」
- （4）星野真澄会員（筑波大学）「アメリカの学校段階区分変革に伴う教育環境整備の特徴と課題－人的側面に注目して－」

## 自由研究発表Ⅱ

司会：加藤幸次（上智大学名誉教授）、赤星晋作（広島市立大学）

自由研究発表の第Ⅱ部会は、以下を予定していた。

- （１）馬場洸志会員（愛知教育大学大学院）「サービス・ラーニング・コーディネーターによる学生指導の実践検証」
- （２）藤平敦会員（日本大学）「classroom management & PBIS と生徒指導の比較－日米教職員への質問紙調査を踏まえて」
- （３）藤村祐子会員（滋賀大学）「米国の現職教員研修に関する研究－教員研修制度の抱える課題と新しい取り組み－」
- （４）小川正人会員（環太平洋大学）「アメリカの経済教育普及における大学経済教育センター等の役割や活動」の報告を予定していた。

## 自由研究発表Ⅲ

司会：安藤輝次（関西大学）、倉本哲男（愛知教育大学）

自由研究発表の第Ⅲ部会は、以下を予定していた。

- （１）中村仁志会員（愛知教育大学大学院・静岡大学大学院）「デューイ実験学校の歴史科教師ラニオンによるターナーの歴史学理論の摂取とその「心理化」」
- （２）福島豪会員（鹿児島国際大学）「保育者の早期離職の問題についての考察－John P. Wanous の Realistic Job Preview は日本の保育業界へ導入可能か－」
- （３）村松麻里会員（金沢学院大学）「アメリカ初等教育におけるリーディング授業の多様性－Guided reading を中心に－」
- （４）浅沼茂会員（立正大学）「ハーバード・クリーバードのカリキュラム史観と現代カリキュラム」の報告を予定していた。

## ◇公開シンポジウム（台風により中止）

### 日米比較を通して生徒指導を考える

－不利な立場にある子どもに着目して－

#### 【趣旨】

アメリカの学校は、人種や民族的マイノリティ、貧困等の問題を抱えた子どもへの教育保障の観点から、ヴァルネラブル（vulnerable）な子どものニーズに応じられるように、多様な制度設計がなされていることが特徴の一つです。わが国においても、昨今、徐々にではありますが子どもの貧困をはじめ、子どものニーズは一層複雑・多様化し、アメリカと似通った状況が徐々に現出してきました。子どもを取り巻く様々な問題や諸課題に日々直面しているアメリカでは、どのようにして子どもの教育を保障し、支援しているのでしょうか。

公開シンポジウムでは、「不利な立場にある」子どもに焦点を当て、生徒懲戒やオルタナティブ教育、保護者への就労支援といった観点から、日本との比較を交えながら生徒指導について考えます。

#### 【提案者】

- 1 アメリカの生徒懲戒制度に見る近年の傾向 片山紀子(京都教育大学 教授)
- 2 青少年への多様な学びの場としてのオルタナティブ教育 宮古紀宏 (国立教育政策研究所)
- 3 アメリカにおける就労支援の強化と最低生活保障 久本貴志 (福岡教育大学)

#### 【司会】

黒田友紀 (日本大学)

**アメリカ教育学会 2018年度会計決算報告書**  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部 (円)

項 目	予 算	決 算	比較増減
学会費・入会金	850,000	944,000	94,000
紀要論文掲載協力金	25,000	25,000	0
紀要赤上料	5,000	0	-5,000
預金利息	100	4	-96
前年度繰越金	700,025	700,025	0
合 計	1,580,125	1,669,029	88,904

支出の部 (円)

項 目	予 算	決 算	比較増減
アメリカ教育研究印刷費 第28号	300,000	300,000	0
第29号	350,000	300,000	-50,000
事務局経費			
庶務費	120,000	96,841	-23,159
通信費	100,000	99,938	-62
謝金	10,000	0	-10,000
HP維持管理費	70,000	56,160	-13,840
大会開催費補助	200,000	200,000	0
アメリカ学会賞報奨金	30,000	0	-30,000
教育関連学会連絡協議会年会費	10,000	10,000	0
予備費	390,125	0	-390,125
次年度繰越金※	0	606,090	606,090
合 計	1,580,125	1,669,029	-88,904

※次年度繰越金計算式は以下の通り

2018年度決算収入合計 969,004 円 - 2018年度決算支出合計 1,062,939 円 = -93,935 円  
前年度繰越金 700,025 円 + 2018年度収支 -93,935 円 = 次年度繰越金 606,090 円

以上の通り報告いたします アメリカ教育学会事務局(会計) 黒田友紀(印省略)

厳正な監査の結果、以上の通り相違ありません

アメリカ教育学会会計監査委員 相原総一郎(印省略)

**アメリカ教育学会 2019年度予算書(案)**  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部 (円)

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	606,090	
学会費・入会金	850,000	6000円×145名(納付率85%)
紀要論文掲載協力金	30,000	
預金利息	10	
合 計	1,486,100	

支出の部 (円)

項 目	予 算	備 考
アメリカ教育研究(第30号)印刷費	300,000	
事務局経費		
庶務費	130,000	学会員名簿作成費を含む
通信費	120,000	
謝金	10,000	
HP維持管理費	70,000	
大会開催費補助	200,000	
アメリカ学会賞報奨金	30,000	
教育関連学会連絡協議会年会費	10,000	
予備費	616,100	
合 計	1,486,100	

## －事務局より－

### ◆アメリカ教育学会第32回大会について

開催地：日本大学理工学部駿河台校舎  
日 時：2020年10月上旬予定  
(詳細については決まり次第、学会ホームページでお知らせします)

### ◆会報のペーパーレス化について

会報については、2019年度より経費削減のためにペーパーレス化を図り、今後は学会MLにて会報発行のご案内をさせていただきます。会報は、従来通り、学会ホームページに掲載をいたしますので、そこからダウンロードをお願い致します。なお、紙媒体での会報の郵送をご希望される方は、以下のアメリカ教育学会事務局E-mailアドレスへご連絡ください。

### ◆会費納入について

2017年度会計年度より、会費年額6,000円(学生会員は5,000円)となっております。また、2016年度以前の未納分につきましては、会費年額5,000円(学生会員は4,000円)の納入をお願いいたします。本年度(2019年度)会費につきましては、できるだけ年度内の納入をお願い致します。ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ◆会員メールアドレスの更新のお願い

学会事務局からの連絡等については、2016年度より各会員に登録いただいているメールアドレスへ、メーリングリストによる一斉配信をしております。メールアドレスの登録変更につきましては、適宜、下記のアメリカ教育学会事務局E-mailアドレスへお知らせください。

### ◆学会ウェブサイト・ブログURLのお知らせ

アメリカ教育学会では、各種情報をウェブサイト及びブログで情報発信しております。ぜひご覧くださいませようお願い致します。

アメリカ教育学会ウェブサイト：<http://www.jaaes.org/index.html>

アメリカ教育学会ブログ：<http://blog.livedoor.jp/jaaes/>

### 【お問い合わせ先】

アメリカ教育学会事務局 E-mail：[jaaes.since.1989@gmail.com](mailto:jaaes.since.1989@gmail.com)

以上